

切羽プロジェクトションマッピング

出展者名：大成建設株式会社

山岳トンネルの切羽に地質情報を投影し、施工の効率化と安全性の向上を実現します

- 切羽で地山の性状や硬軟の程度をビジュアルかつ定量的に把握できます
- 地質情報を共有し、発破パターンや装薬量を最適化することにより施工効率が向上します
- 簡易なボタン操作でシステムの運用が可能であるため、作業員や技術者の負担がありません

トンネルの切羽（吹付けコンクリートに覆われた掘削面）をスクリーンにして、地盤情報を投影します。掘削直後の切羽写真やスケッチ、地盤の硬軟を表すコンター図などの地盤情報を投影します。作業員が最新の地盤情報をリアルタイムで可視化・共有することが可能となり、安全かつ効率的な施工を支援します。



切羽写真の投影による吹付け前の切羽の再現



岩盤の硬軟分布を示すカラーコンター図の投影状況